令和５年度

秦野市公共下水道事業会計
決　算　附　属　書　類

令和５年度秦野市公共下水道事業報告書

１　概　況

(1)　総括事項

令和５年度は、「はだの上下水道ビジョン」に掲げた基本理念「おいしい秦野の水と清らかに輝く名水の里　ひきつごう　いつまでも」の実現に向け、安定した汚水処理や浸水対策を推進するため、施設の維持管理や汚水処理、管路及び施設の整備、災害時対策などの事業を行いました。

中央処理区の処理場である浄水管理センターについては、昭和 56 年の供用開始から 40 年以上が経過し、老朽化の進む汚泥処理監視制御設備の改築更新工事が完了しました。

本市の汚水事業における管きょ整備は、区画整理事業の遅れや私道の承諾が得られないなど様々な理由により未整備となっている区域を除き、令和２年度末までに概ね完了しており、事業の中心は整備、建設から維持管理、更新に移行しつつあり、下水道への新規接続件数は以前より少なくなっています。

事業の主たる財源である下水道使用料収入は、令和 5 年 10 月に使用料改定をしたものの、有収水量が減少したことなどにより、前年度に比べ約 1,500 万円の増収に留まりました。

今後も、人口減少や施設の老朽化などにより経営環境は厳しさを増す中、継続的な企業努力を重ねつつ、中長期の経営状況を見通して、事業の健全経営を維持できるように進めていきます。

ア　経営の状況（(　) 内は、消費税及び地方消費税を含んだ額）

(ｱ)　収益的収支

収入が 49 億 7,798 万 8,093 円（51 億 9,780 万 3,398 円）、支出が 45 億 8,204 万 8,889 円（47 億 3,998 万 3,057 円）で、前年度から約 3,100 万円減の 3 億 9,593 万 9,204 円の純利益となりました。

収入の主なものは、下水道使用料 20 億 7,575 万 7,675 円 （22 億 8,308 万 4,006 円）、他会計補助金 11 億 6,008 万 3,523 円、長期前受金戻入 10 億 8,784 万 3,317 円、雨水処理負担金 4 億 8,694 万 9,369 円で、収入全体の 96.64 パーセントを占めています。

一方、支出の主なものは、減価償却費 25 億 3,650 万 387 円、委託料 6 億 9,302 万 7,819 円（7 億 6,233 万 595 円）、企業債利息 3 億 7,267 万 3,037

円で支出全体の 78.62 パーセントを占めています。

なお、1 立方メートル当たりの使用料単価は 143 円 32 銭で、汚水処理原価は 153 円 41 銭でしたので、10 円 09 銭の処理損失が生じています。

(ｲ) 資本的収支

収入が 7 億 9,415 万 5,107 円（7 億 9,415 万 5,452 円）、支出が 28 億 5,908 万 8,038 円（29 億 3,543 万 5,412 円）となりました。この収入額と支出額の差 21 億 4,127 万 9,960 円（税込額）は、公営企業会計のルールに従い、当年度分損益勘定留保資金などで補いました。

また、令和 5 年度末における企業債の未償還残高は、255 億 7,152 万 4,851 円で、前年度に比べ 11 億 889 万 5,738 円減少しています。

イ 普及の状況

令和 5 年度末現在における処理区域内の人口は 13 万 9,870 人で、前年度に比べ 593 人の減少となりました。一方、水洗化人口は 13 万 498 人となり 8 人増加しました。

処理区域内人口に対する水洗化率は、前年度と比べ 0.40 ポイント増の 93.30 パーセントとなりました。

また、公共下水道に接続すべき水道メーター数は 81,925 個、公共下水道接続済水道メーター数は 73,591 個で、接続率は、前年度に比べ 0.43 ポイント増の 89.83 パーセントとなりました。

汚水処理量は、中央処理区においては、浄水管理センターで 1,103 万 4,762 立方メートル、大根・鶴巻処理区においては、主に鶴巻中継ポンプ場を経由して伊勢原終末処理場で 313 万 268 立方メートル、西部処理区においては、酒匂川流域下水道で 44 万 2,517 立方メートル、合計 1,460 万 7,547 立方メートルとなり、前年度に比べ 9 万 9,295 立方メートル減少しています。

また、下水道使用料収入の基礎算定数値となる有収水量は、年間 1,448 万 3,766 立方メートルで、前年度に比べ 14 万 822 立方メートル、0.96 パーセントの減となり、有収率は 0.29 ポイント減の 99.15 パーセントとなりました。

ウ 主な事業成果

(ｱ) 管きょ費

汚水管きょ約 544 キロメートル及び雨水管きょ約 61 キロメートル、そのほか 71 か所のマンホールポンプなどの施設について、適切に維持管理し、安定的な下水道サービスの提供と浸水被害等の防止に努めました。

(ｲ) 処理場費

浄水管理センターにおける処理水質は、下水道の放流水の基準であるＢＯＤ15mg/L 以下、ＳＳ40mg/L をいずれも満たし、金目川の水質保全に努めることができました。

また、汚水の処理に伴い発生する汚泥の排出量については、伝熱式乾燥機を活用し以前より大幅に削減できており、乾燥汚泥のうち 548.4 トンは燃料の原料として売却しました。

なお、乾燥汚泥を含めた全汚泥について、コンポストや建設資材の原料として、再資源化を行いました。

(ｳ) 建設改良費

建設改良事業については、社会資本整備総合交付金が要望額に対し満額交付であったことから、公共下水道施設整備計画に基づき、未整備区域の汚水管きょの整備や局地的な大雨に対応するための浸水対策を行いました。また、地震災害時に重要な役割を果たす広域避難所及び防災拠点からの汚水処理を持続可能なものとするため管きょの耐震化や、老朽化の進んでいる管路施設の機能を維持するため管きょの更新を進めました。

更に、令和 6 年度以降に予定していた雨水管きょ整備事業、管きょ耐震化・更新事業及び処理場耐震化・更新事業について、国の第 1 次補正予算を活用した補正を行いました。

なお、汚水管きょの整備済面積は 2,506.9 ヘクタール、全体計画に対する整備率は 97.26 パーセントとなりました。

○ 汚水管きょ整備事業

未整備区域の整備完了に向けて、本市の都市計画事業である秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業に合わせ、未整備となっていた事業地内の一部について整備を進めました。

○ 雨水管きょ整備事業

近年増加している局地的な大雨による浸水被害を軽減するため、西及び南並びに大根・鶴巻地区などで進めた 4 件の工事などにより、約 420 メートルの整備を進めました。

○ 管きょ耐震化・更新事業

耐震化及び老朽化が進む管きょの機能を維持するため、4 件の工事などにより、約 570 メートルの改築更新と耐震化を進めました。

○ 施設耐震化・更新事業

老朽化が進む処理場施設の耐震化及び改築・増築を計画的に進めるた

め、令和 4 年度から 2 か年の継続事業として、中央処理区の処理場である浄水管理センターの汚泥処理監視制御設備の改築更新を実施しました。

(2)　経営指標に関する事項

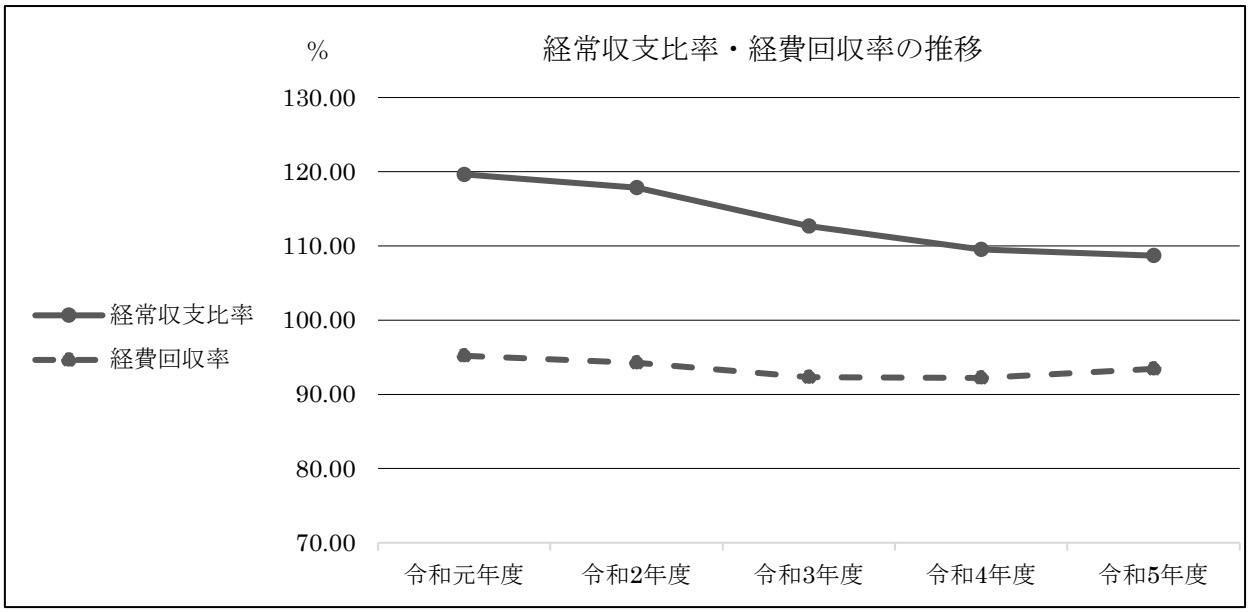
令和 5 年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、一般会計からの繰入金の減少や資産減耗費が増加したことにより、前年度比 0.83 ポイント減の 108.69 パーセントとなりましたが、健全経営の水準とされる 100 パーセントを上回っています。

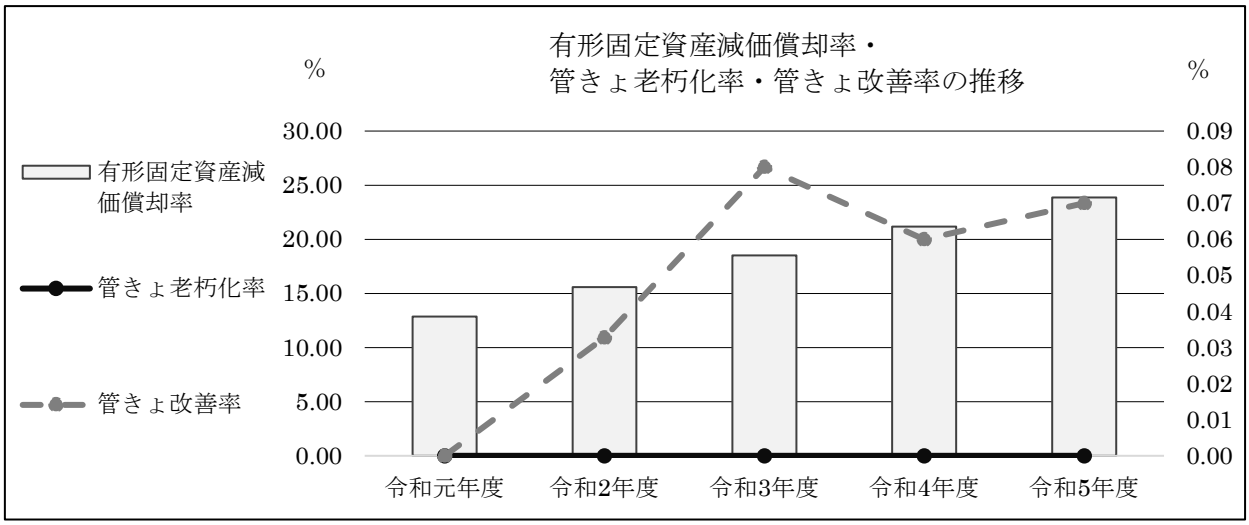
また、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比 1.21 ポイント増の 93.42 パーセントとなり、使用料改定をしたものの、有収水量が減少したことなどにより、事業に必要な費用を下水道使用料で賄えているとされる 100 パーセントを下回っています。適正な下水道使用料収入を確保し、汚水処理費の削減を進めていく必要がある状況です。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、前年度比 2.69 ポイント増の 23.87 パーセント、法定耐用年数を経過した管きょ延長の割合を示す管きょ老朽化率は前年度と変わらず 0.00 パーセント、該当年度に更新した管きょ延長の割合を示す管きょ改善率は、前年度比 0.01 ポイント増の 0.07 パーセントとなっています。現在は、法定耐用年数を超えた管きょはありませんが、今後、これらの比率は上昇していく見込みであり、将来の更新需要に備え、経営基盤を強化しながら、引き続き計画的な施設の更新を行っていきます。

〈経営指標の推移〉　　（単位　%）

区　分 ＼ 年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
経常収支比率	119.64	117.84	112.67	109.52	108.69
経費回収率	95.19	94.24	92.31	92.21	93.42
有形固定資産減価償却率	12.87	15.57	18.50	21.18	23.87
管きょ老朽化率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
管きょ改善率	0.00	0.03	0.08	0.06	0.07





(3)　議会議決事項

議案番号	件　　名	提出年月日	議決年月日
令和5年 議案第37号	令和4年度秦野市公共下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について	令和 5. 9.19	令和 5.10.17 （認定）
令和5年 議案第55号	秦野市水道事業及び公共下水道事業の企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することについて	令和 5.11.30	令和 5.12.19
令和5年 議案第64号	令和5年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第1号）を定めることについて	令和 5.11.30	令和 5.12.19
令和6年 議案第4号	令和6年度秦野市公共下水道事業会計予算を定めることについて	令和 6. 2.26	令和 6. 3.26
令和6年 議案第9号	秦野市水道事業及び公共下水道事業の企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することについて	令和 6. 2.26	令和 6. 3.26
令和6年 議案第20号	令和5年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第2号）を定めることについて	令和 6. 2.26	令和 6. 3.4
令和6年 議案第21号	令和5年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第3号）を定めることについて	令和 6. 2.26	令和 6. 3.26

(4)　行政官庁認可（許可）事項

申　請　先	件　　名
国土交通大臣 (関東地方整備局)	国道掘削占用許可申請（1件）
神奈川県知事 (平塚土木事務所)	県道掘削占用許可申請（8件）

※　継続申請は除く。

(5)　職員に関する事項

（単位　人）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増　　減
損益勘定 支弁職員	事 務 職 員	10　(5)	12　(5)	△ 2　(0)
	技 術 職 員	15　(1)	14　(1)	1　(0)
	計	25　(6)	26　(6)	△ 1　(0)
資本勘定 支弁職員	事 務 職 員	0　(0)	0　(0)	0　(0)
	技 術 職 員	6　(0)	6　(0)	0　(0)
	計	6　(0)	6　(0)	0　(0)
合　　計		31　(6)	32　(6)	△ 1　(0)

※　年度末現在の人員を記載。
　（　　）は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員。

(6) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

令和4年12月秦野市議会第4回定例月会議において、秦野市公共下水道使用料徴収条例の一部を改正する条例が議決され、下水道使用料について令和5年10月1日に次のとおり改定しました。

区分		排水量	使用料 ( )内は、旧使用料
一般汚水 ※1	基本額	4立方メートル以下の分	500円 (365円)
	加算額 (1立方メートルにつき)	4立方メートルを超え 8立方メートルまでの分	110円
		8立方メートルを超え 20立方メートルまでの分	120円
		20立方メートルを超え 30立方メートルまでの分	160円
		30立方メートルを超え 50立方メートルまでの分	210円
		50立方メートルを超え 75立方メートルまでの分	255円
		75立方メートルを超え 100立方メートルまでの分	260円
		100立方メートルを超え 500立方メートルまでの分	270円
		500立方メートルを超え 3,000立方メートルまでの分	280円
		3,000立方メートルを超える分	290円
特定汚水 ※2	基本額及び加算額	500立方メートルまでの分	一般汚水に係る使用料と同額
	加算額 (1立方メートルにつき)	500立方メートルを超える分	225円
公衆浴場汚水 ※3	基本額	100立方メートルまでの分	2,445円 (2,310円)
	加算額 (1立方メートルにつき)	100立方メートルを超える分	20円

備考

※1 一般汚水とは、公衆浴場汚水及び特定汚水以外の汚水をいう。

※2 特定汚水とは、公共下水道接続後も下水道条例第11条及び第12条の規定により引き続き除害施設で汚水を処理する必要のある使用者から排除される汚水をいう。

※3 公衆浴場汚水とは、公衆浴場法(昭和23年法律第139号)第1条第1項に規定する施設で、物価統制令(昭和21年勅令第118号)第4条の規定により入浴料金について統制額の指定を受けているものから排除される汚水をいう。

２　工　　事

(1)　建設、改良工事の概要

（事業費　2,000万円以上）

事業名	工事名及び施工内容	事業費　※	着工年月日	完成年月日
雨水管きょ整備事業費	第1号公共下水道室川第9雨水枝線整備工事（建設改良繰越） 工事延長　延長　138m 管推進工　内径　800mm　延長　130m 立坑築造工　1式 マンホール設置工　5基 付帯工　1式	110,971,919円 うち、令和5年度執行額 110,859,100 円	令和4.6.3	令和5.6.16
	第1号公共下水道室川第9雨水枝線整備工事（第2工区）（令和4年度建設改良繰越） 工事延長　延長　118m 管布設工　内径　1,000mm　延長　36m 管布設工　内径　900mm　延長　78m マンホール設置工　2基 付帯工　1式	75,538,566円	令和5.6.30	令和6.3.21
	第1号公共下水道大根第10雨水枝線整備工事 工事延長　延長　82m 管布設工　内径　600mm　延長　78m マンホール設置工　4基 付帯工　1式	27,927,032円	令和5.4.26	令和6.1.15
雨水管きょ耐震化・更新事業費	第1号公共下水道大根第10-1雨水幹線更新工事 工事延長　延長　60m 管布設工　内径　1,650mm　延長　60m 仮排管布設工　内径　600mm　延長　72m マンホール設置工　2基 付帯工　1式	93,326,200円	令和5.7.14	令和6.3.19
処理場耐震化・更新事業費	浄水管理センターNo.4送風機改築工事 ブロワ分解整備　1台	58,850,000円	令和5.5.2	令和6.3.18
	秦野市浄水管理センターの電気設備工事に関する協定（令和4年度継続費設定） 秦野市浄水管理センター電気設備工事その13	203,980,000円	令和4.10.24	令和6.2.22

※　事業費は、工事請負費、負担金（路面復旧監督事務費）及び補償費の合計額。ただし、「秦野市浄水管理センターの電気設備工事に関する協定」については、委託料。

３　業　　務

(1)　業務量（公共下水道の整備及び普及状況 ）

区分			令和５年度	令和４年度	比較 増減	比較 比率
全体計画面積 (ha)		A	2,577.6	2,577.6	0.0	100.00%
市街化区域面積 (ha)		B	2,438.4	2,438.4	0.0	100.00%
事業計画面積 (ha)		C	2,566.5	2,566.5	0.0	100.00%
処理区域面積 (ha)			2,212.4	2,195.2	17.2	100.78%
整備面積 (ha)		D	2,506.9	2,506.9	0.0	100.00%
市街化整備面積 (ha)		E	2,395.1	2,395.1	0.0	100.00%
整備率	対全体計画区域 (%)	D/A	97.26	97.26	0.00	
	対市街化区域 (%)	E/B	98.22	98.22	0.00	
	対事業計画区域 (%)	D/C	97.68	97.68	0.00	
行政区域内	世帯 (戸)	F	76,211	75,579	632	100.84%
	人口 (人)	G	158,710	159,315	△ 605	99.62%
処理区域内	世帯 (戸)	H	67,693	67,158	535	100.80%
	人口 (人)	I	139,870	140,463	△ 593	99.58%
水洗化実績	世帯 (戸)	J	62,653	61,965	688	101.11%
	人口 (人)	K	130,498	130,490	8	100.01%
公共下水道普及率	世帯 (%)	H/F	88.82	88.86	△ 0.04	
	人口 (%)	I/G	88.13	88.17	△ 0.04	
水洗化率	世帯 (%)	J/H	92.55	92.27	0.28	
	人口 (%)	K/I	93.30	92.90	0.40	
接続率	量水器 (%)	L	89.83	89.40	0.43	
流入（処理）水量	年間水量 (㎥)	M	14,607,547	14,706,842	△ 99,295	99.32%
	日平均水量 (㎥)	M/365	39,911	40,293	△ 382	
年間有収水量	水量 (㎥)	N	14,483,766	14,624,588	△ 140,822	99.04%
	有収率 (%)	N/M	99.15	99.44	△ 0.29	
汚泥の処分	年間汚泥処分量 (t)	O	6,361.6	5,910.6	451.0	107.63%
	日平均汚泥処分量 (t)	O/365	17.4	16.2	1.2	
	年間汚泥処分費(千円)	税込	170,450	156,090	14,360	109.20%

※ 行政区域内人口及び世帯は、住民基本台帳登録人口及び世帯。
※ 対市街化区域の整備率については、いずれの年度も市街化調整区域内の整備面積13.8haを除いて算出。
※ 接続率については、公共下水道に接続すべき量水器（水道メーター）数に対する、公共下水道接続済数から算出。
※ 令和5年度は、日平均の数量を1/366日で算出。

(2) 事業収入に関する事項

ア　事業収入

区　　分	令和５年度		令和４年度		増　減　額
	金　　額	構成比	金　　額	構成比	
	円	%	円	%	円
1　営業収益	2,674,736,249	53.73	2,646,527,354	53.46	28,208,895
1　下水道使用料	2,075,757,675	41.70	2,060,445,005	41.62	15,312,670
2　雨水処理負担金	486,949,369	9.78	461,406,978	9.32	25,542,391
3　受託事業収益	83,529,348	1.68	95,450,048	1.93	△11,920,700
4　その他営業収益	28,499,857	0.57	29,225,323	0.59	△725,466
2　営業外収益	2,303,034,588	46.27	2,304,230,650	46.54	△1,196,062
1　受取利息	15,496	0.00	116,285	0.00	△100,789
2　他会計補助金	1,160,083,523	23.31	1,207,308,025	24.39	△47,224,502
3　長期前受金戻入	1,087,843,317	21.85	1,059,944,924	21.41	27,898,393
4　資本費繰入収益	24,495,397	0.49	24,289,579	0.49	205,818
5　消費税及び地方消費税還付金	0	0.00	0	0.00	0
6　雑収益	21,246,855	0.43	12,571,837	0.25	8,675,018
7　国庫補助金	9,350,000	0.19	―	―	9,350,000
3　特別利益	217,256	0.00	54,176	0.00	163,080
1　固定資産売却益	176,550	0.00	0	0.00	176,550
2　過年度損益修正益	40,706	0.00	54,176	0.00	△13,470
合　　計	4,977,988,093	100.00	4,950,812,180	100.00	27,175,913

(3) 事業費に関する事項

ア　事業費用

区　　分	令和５年度		令和４年度		増　減　額
	金　　額	構成比	金　　額	構成比	
	円	%	円	%	円
1　営業費用	4,187,104,941	91.38	4,091,384,925	90.45	95,720,016
1　管きょ費	187,157,357	4.08	156,600,341	3.46	30,557,016
2　ポンプ場費	61,847,613	1.35	58,134,855	1.29	3,712,758
3　処理場費	752,041,241	16.41	764,807,816	16.91	△ 12,766,575
4　受託事業費	80,176,126	1.75	92,101,192	2.04	△ 11,925,066
5　普及促進費	23,276,566	0.51	17,687,816	0.39	5,588,750
6　業務費	128,069,798	2.79	136,501,628	3.02	△ 8,431,830
7　総係費	154,200,451	3.37	132,450,066	2.93	21,750,385
8　流域下水道事業等維持管理負担金	220,843,593	4.82	210,798,181	4.66	10,045,412
9　減価償却費	2,536,500,387	55.36	2,515,317,228	55.60	21,183,159
１０　資産減耗費	42,991,809	0.94	6,985,802	0.15	36,006,007
１１　その他営業費用	0	0.00	0	0.00	0
2　営業外費用	392,879,157	8.57	428,957,546	9.48	△ 36,078,389
1　支払利息及び企業債取扱諸費	372,673,037	8.13	411,607,591	9.10	△ 38,934,554
2　雑支出	20,206,120	0.44	17,349,955	0.38	2,856,165
3　特別損失	2,064,791	0.05	3,226,820	0.07	△ 1,162,029
1　固定資産売却損	0	0.00	0	0.00	0
2　過年度損益修正損	2,064,791	0.05	3,226,615	0.07	△ 1,161,824
3　減損損失	0	0.00	0	0.00	0
4　その他特別損失	0	0.00	205	0.00	△ 205
合　　計	4,582,048,889	100.00	4,523,569,291	100.00	58,479,598

4　会　　計

(1)　重要契約の要旨

（契約金額　2,000万円以上）

契約年月日	契約金額(円)	契　約　の　内　容	契約の相手方
令和2.12.14	月額 29,040,000	令和2年度秦野市浄水管理センター等維持管理委託業務(長期継続契約)	相鉄企業(株)
令和4.6.2	110,859,100	令和4年度第1号公共下水道室川第9雨水枝線整備工事(建設改良繰越)	(株)菊正建設
令和4.10.24	203,980,000	秦野市浄水管理センターの電気設備工事に関する協定(令和4年度継続費設定)	日本下水道事業団
令和5.1.18	30,030,000	令和4年度秦野市浄水管理センター下水道汚泥運搬及び処分委託業務(その1)(単価契約)(長期継続契約)	(株)松沢興産・(株)デイ・シイグループ
令和5.1.18	31,625,000	令和4年度秦野市浄水管理センター下水道汚泥運搬及び処分委託業務(その2)(単価契約)(長期継続契約)	(有)森環境開発・(株)アサギリグループ
令和5.1.18	31,152,000	令和4年度秦野市浄水管理センター下水道汚泥運搬及び処分委託業務(その3)(単価契約)(長期継続契約)	(株)稲元興業・(株)湯浅産業グループ
令和5.4.1	73,047,486	令和5年度上下水道料金等業務包括委託業務	日本ウォーターテックス・BSNアイネット共同企業体
令和5.4.10	46,200,000	令和5年度下水道施設用汚泥消臭剤の購入(単価契約)	(株)三凌商事 厚木支社
令和5.4.25	23,265,000	令和5年度下水道施設用高分子有機凝集剤の購入(単価契約)	相鉄企業(株)
令和5.4.25	27,272,300	令和5年度第1号公共下水道大根第10雨水枝線整備工事	(有)森環境開発
令和5.5.1	58,850,000	令和5年度浄水管理センターNo.4送風機改築工事	昱(株) 神奈川支店
令和5.5.30	22,535,700	令和5年度秦野市内水浸水想定区域図作成委託業務	(株)東洋コンサルタント 神奈川支店
令和5.6.27	26,276,800	令和5年度第1号公共下水道中央処理区枝線整備(今泉2工区)及び水無第8雨水枝線整備工事	(有)アイテック
令和5.6.29	57,169,200	第1号公共下水道室川第9雨水枝線整備工事(第2工区)(令和4年度建設改良繰越)	(有)中田建材
令和5.7.11	30,712,000	令和5年度第1号公共下水道汚水マンホールポンプ場及び雨水排水ポンプ場制御盤更新工事	(株)小中電気
令和5.7.13	93,326,200	令和5年度第1号公共下水道大根第10-1雨水幹線更新工事	(株)稲元興業
令和5.7.13	51,725,300	令和5年度第1号公共下水道汚水マンホールポンプ場及び雨水排水ポンプ場修繕及び更新工事	(株)第一テクノ 横浜営業所
令和5.12.13	月額 33,000,000	令和5年度秦野市浄水管理センター等維持管理委託業務(長期継続契約)	相鉄企業(株)
令和6.2.8	29,700,000	令和5年度秦野市浄水管理センター下水道汚泥運搬及び処分委託業務(その1)(単価契約)(長期継続契約)	(株)松沢興産・(株)デイ・シイグループ
令和6.2.8	25,173,500	令和5年度秦野市浄水管理センター下水道汚泥運搬及び処分委託業務(その2)(単価契約)(長期継続契約)	(有)森環境開発・(株)アサギリグループ
令和6.2.8	25,410,000	令和5年度秦野市浄水管理センター下水道汚泥運搬及び処分委託業務(その3)(単価契約)(長期継続契約)	(株)稲元興業・(株)湯浅産業グループ
令和6.2.8	20,272,780	令和5年度秦野市浄水管理センター下水道汚泥運搬及び処分委託業務(その5)(単価契約)(長期継続契約)	(株)稲元興業・バイオサイエンス(株)グループ

※　単価契約については、入札時落札価格(税込)。

(2) 企業債及び一時借入金の概要

ア　企業債

（単位　円）

借　入　先　別	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
公共下水道事業債				
財務省	8,228,965,111	402,400,000	681,727,079	7,949,638,032
独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構	2,858,487,550	0	146,898,773	2,711,588,777
地方公共団体金融機構	14,890,477,592	357,700,000	973,399,482	14,274,778,110
神奈川県	448,617,482	0	59,771,516	388,845,966
株式会社横浜銀行	166,294,000	0	1,619,000	164,675,000
中栄信用金庫	17,952,000	0	528,000	17,424,000
秦野市農業協同組合	28,000,000	0	2,000,000	26,000,000
さがみ信用金庫	12,564,000	0	484,000	12,080,000
小　　計	26,651,357,735	760,100,000	1,866,427,850	25,545,029,885
流域下水道事業債				
財務省	18,955,355	0	3,195,892	15,759,463
地方公共団体金融機構	10,107,499	1,300,000	671,996	10,735,503
小　　計	29,062,854	1,300,000	3,867,888	26,494,966
合　　計	26,680,420,589	761,400,000	1,870,295,738	25,571,524,851

※　地方公共団体金融機構は、旧公営企業金融公庫を含む。

イ　一時借入金（起債前借金）

（単位　円）

借　入　先　別	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
財務省	131,200,000	0	131,200,000	0
合　　計	131,200,000	0	131,200,000	0

(3) その他会計経理に関する重要事項

ア　出資金

(ｱ)　神奈川県下水道公社出資金

（単位　円）

区　　分	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
出　資　金	70,000	0	0	70,000

(ｲ)　地方公共団体金融機構出資金

（単位　円）

区　　分	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
出　資　金	7,568,000	0	0	7,568,000

5　その他

(1)　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事項

なし